

テープストリッピングにより剥離した角層の形態観察



SUSCARE

1. 測定条件

テープストリッピングにて上腕内側の肌および肘から採取した角層を、卓上型走査電子顕微鏡により観察して比較した。

2. 測定結果

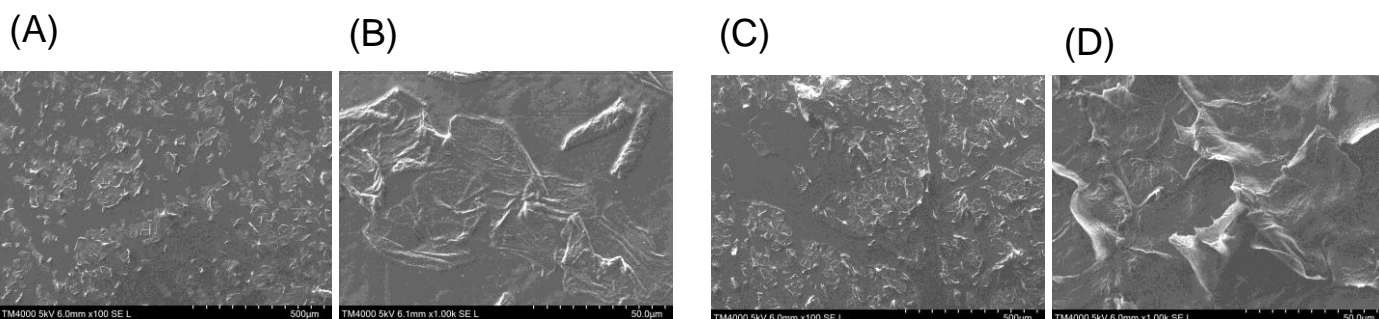


図1.卓上型走査電子顕微鏡による角層の二次電子像。

(A)は上腕内側の角層の低倍率観察、(B)は (A)の高倍率観察； (C)は肘の角層の低倍率観察、(D)は (C)の高倍率観察

3. 測定結果から得られる情報

- 二次電子は、入射電子(一次電子)により励起され発生した電子です。二次電子は試料表面の形状により発生量が変わるため、二次電子像は試料表面の凹凸情報試料が得られます。
- 正常な肌は角層が一層ずつ剥離されるが、乾燥している肌では多重剥離が多く見られます。肘は外部からの刺激が強い部位であるため、乾燥しやすく、多層剥離が多く見られた。(図CおよびD)

4. 使用機器／利用料金

卓上型走査電子顕微鏡 (分析機能付き)

(TM-4000Plus, 日立ハイテックフィールドディング社製)

中小企業： 1,700 円

一般企業： 3,400 円 (1時間当たり)

※あくまで参考価格です。試験内容によって料金は変わりますことご了承下さい。
ご不明な点等ありましたら[お問い合わせ](#)ください。